

Narashino International Association



NIA SQUARE ファウエア

Quarterly News

第54号

2001年6月1日
習志野市国際交流協会

Special 香港の今
What's New アジアの民話を訳した人
Report イタリア便り
Report モロッコ紀行

N.I.A Youth メル友との出会い、他
Who's Who こんにちは、コンニチハ
information N.I.A事業のお知らせ
Challenge ザ・英文クロスワード

「香港の今」

ヤン インメイ
…楊燕媚(N.I.A.会員)

今日は私の故郷香港についてお話をさせて頂きます。香港の人口は700万人。日常の会話は広東語が主流です。しかし、1997年の中国返還迄イギリスの植民地になっていた為、会話の中に沢山の外来語が混じっていて、本当の広東語だけしか話さない人には通じないところがあり、文章も当て字が多くどれが外来語か解らないと意味を理解することが出来ません。

中国政府は、返還後50年間は現状のまま（一国二制度）という事を保証しています。

・ショッピングについて

香港は旅行者の「買い物天国」と言われるほど世界の有名ブランドのブティックが軒を連ねています。中でも、尖沙咀（チムサーチョイ）、中環（チュンワン）エリアにある新世界中心（パレスモール）、置地広場（ランドマーク）、太古広場（パシフィックプレイス）等が特に有名で、曜日に関係なくいつも沢山の人でぎわっています。比較的安価なもの

は、市街地から電車に乗って20分位行ったところに在る沙田（シャティン）というところにある沙田広場に行けば買うことが出来ます。

観光客がよく行く女人街（旺角花園街）にも安価な商品が沢山ありますが、露店で販売しているので、安価な物が

余計に安っぽく見えます。（ちなみに香港のバーゲンシーズンは、12月末～2月末と7月の2回です。）

・食事について



チュンワン市街のビル群

香港ほど“食べる”ということに事欠かないところはないでしょう。一口に中華料理と言っても広東料理、上海料理、四川料理、北京料理、潮州料理…と色々あります、それ以外にもインド料理や、ベトナム料理等、世界中の国々の食べ物が香港に行けば食べる事が出来ます。香港人は、基本的に早朝（朝食）、午餐（昼食）、晚餐（夕食）、宵夜（夜食）と1日4回食事をします。（人によっては午後3時頃に、“下午茶”というアフタヌーンティーをする人もいますが…。）早餐は、飲茶レストランで点心を食べながらお茶を飲んだり、茶餐店（香港人御用達の大衆食堂）で、トースト、目玉焼き、インスタントラーメン、コーヒーのセットメニューにしたり、お粥専門店で皮蛋瘦肉粥（ピータンと脂の無い肉のお粥）等のお粥に油條（棒状の揚げパン）を付けながら食べたりするのが多いです。

午餐は、オフィス等で働く人たちは、ランチボックスの出前を頼んで、会社の中で食べたり、仲間たち何人かで飲

茶に行く時等は、そのうちの1人が、午前の仕事が終わる10分位前にレストランに行って、場所取りをします。これは、仲間がすぐに来てくれればいいのですが、遅れると店が混んできてすごく気まずい思いを日本ならするのですが、香港ではそれが当たり前なので、全然平気です。

晚餐位から家で食事をするというところが出てきます。香港では、外食したほうが家でご飯を食べるより安いので、殆どの人達が朝と昼は外で食事をします。と言っても夜になると外で食べる所がなくなってしまうのかと言うとそうではなくて、ここからが香港の本領発揮と言う感じになります。昼間は開いていなくても、夕方からオープンする店も数多くあります。逆にこういうお店のほうが、香港らしい出会いが出来ます。



飲茶レストラン

香港に行かれた方はご存知かと思いますが、香港と言えば何と言っても新鮮で豊富な海鮮です。特大シャコ、伊勢海老、赤やグリーンの魚など日本ではあまり見る事のない食材が水槽の中を泳いでいるのを選んでレストランを持って行って調理してもらう鯉魚門（レイユームン）や、香港独自と言ってもいいかもしれない物では、避風塘（ペイフォントン）料理と言うものがあり、10年位前までは、香港島側の避風塘というクルーザー等を泊めておくヨットハーバーの様な港で小さい船を2時間貸しきって、少し沖まで船頭さんが手で漕いで出て行くと、私たちの船よりもっと小さいボートが近寄ってきて、オーダーを取ってくれます。そこであれこれ注文をすると、そのボートの上で調理を始めて、出来上がるとまた寄ってきて出来上がった料理を運んできてくれます。このボートは海鮮の料理のみで、注文した料理が全部出て来た時点でお金を支払います。他にも、飲み物と果物を売っているボート、麺類と野菜関係を調理したりするボートだったり、変わった所では、演奏してくれる船などがあったのですが、時代の流れで、これもなくなってしまいました。この料理だけは、今も陸上で口にすることができるのですが、やっぱり海の上で食べた方が

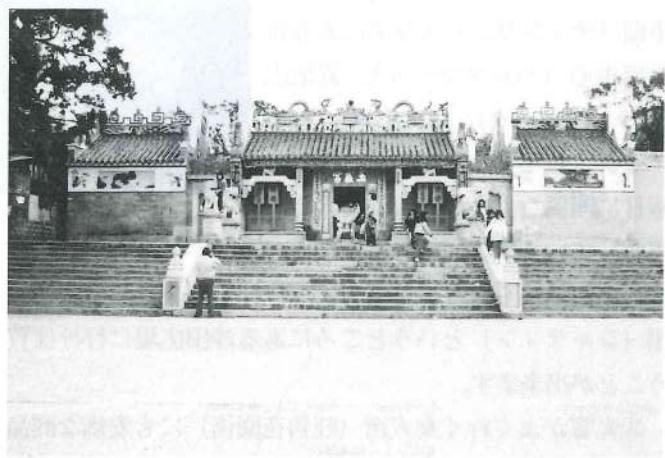
風情があって良かったです。

・風水について

近年日本でも風水の本や占いなどかなり流行っていますが、香港でもかなり日常生活に密着したところで、風水に頼っている部分があります。転職、引越し、結婚とあらゆる事を風水の先生に相談して決めます。ひどいところでは、会社の社長が、自分の会社の将来までも風水に任せてなんでも珍しくありません。

・結婚式と披露宴

香港の結婚式と披露宴は殆ど1日掛かりで行われます。まず結婚式の前の晩は、新郎と新婦は一緒に過ごす事が出来ず、新婦は自分の友達たちと一緒にいて、夜中の3時頃に友達に髪の毛を梳かしてもらう所から始まります。新郎は、朝の7時頃から自分の友達と一緒に花車（飾り付けをした新郎と新婦が乗る車）の準備をして、その後花車を先頭に何台かの車で連なって新婦のいるところまで迎えに行くのですが、現地に到着してもスンナリいってくれる訳ではなくて、数々の問題と、それに答えられなかった時の罰ゲームが待っているのです。それらの難関を通過して初めて新婦に会うことができます。そこには、新婦側の親戚や兄弟達がいて、それぞれにお茶を勧めます。一通り終わると今度は、新婦も花車に載せて新郎側の親戚や兄弟が待っている所まで行き、新婦を紹介し、皆にお茶を勧めます。この辺でもうすでに12時はとっくに回っています。昼食の後、親族や友人と一緒に婚姻登記所に行き、香港政府の証人を間に立て、結婚の宣誓をし、指輪の交換をした後、婚姻届にサインをします。これで結婚式の過程は終了となります。この後少しの休憩があってすぐに披露宴会場に向かいます。香港の披露宴は8~9時頃からなのですが、招待状には5時からと書かれてあります。これは、皆披露宴の前に集まって麻雀をする為で、レストラン等で披露宴をすると、中華料理を食べる丸いテーブルの上の丸い部分を外してその上に麻雀卓を置いたような感じになります。そして全ての



チャンチュウ島の廟



智靖君と詩織さんと共に

招待客が集まつた頃から披露宴が始まります。(このときには、麻雀卓は丸いテーブルに変わっています) 新郎と新婦の入場を合図に料理も出始めます。この披露宴も日本の様な格式張ったものは全然なくて、最初から最後までワイワイガヤガヤしていて、その内皆お酒が入つて酔っ払つてくると、一氣合戦が始まつてゲームに負けるとお酒を飲まれて飲めないと近くにいる人が代わりに飲まされてしまつます。そんな感じで時間はアッと言う間に過ぎてしまつ気が付くと11時をすぎてしまうなんてこともあります。

香港は、中国とイギリスの文化が入り混じつてゐる関係で、年間を通して色々な行事があります。中でも、12月の初めから2月の終り頃までは、クリスマス、正月、旧正月とあるため、この期間が、一年の中で香港が一番綺麗に見える時だと言ってもいいでしょう。沢山の会社のビルがそれぞれに趣向を凝らした飾り付けをして、これが夜になるとライトアップされて、それはもうとても素晴らしい眺めです。

・楊貴妃が好んで食べた“荔枝”（ライチ）

6月の初め頃になると市場に荔枝が出てきます。今では日本の中華料理屋さんでも冷凍物があり口にすることがでりますが、外側の皮が茶色くなつていますが、新鮮なものは赤い色をしていて、皮をむくと中からものすごく甘い汁が沢山出てきて2～3個食べるとその糖分で手がベトベトになつてしまふくらいです。種類もいくつかありその種類によって値段も違います。その為、値段の高い実が成る木の下には実がついている間は、一人の人が木の下に小屋を建てて（とても簡単な造りのもの）その中で一晩中見張りをしているのです。ちなみに、いい荔枝は、種が小さく実の肉厚な物が良いとされています。（これは中国本土の話です。）

・香港人の仕事に対する考え方

香港は男女平等で、このことは仕事に関しても例外では

ありません。それに、日本でも最近そうなりつつあります
が、終身雇用制度というものはなく1つの会社に就職が決
まってもそれに満足せず、今よりも給料の高いところはない
かとか、少しでも条件が良いところはないかと常にアン
テナを張り巡らせています。ですから、皆1～2年で仕事
を変えます。中国人のことわざに“魚不過塘不肥”（魚は水
槽を変えてやらないと太らない）もあるくらいです。

・気候について

香港に行った人に「香港どうだった？」と聞くと「とても寒かった」という話を良く聞きます。これは、どの建物に入つても車に乗つても冷房が効きすぎる位効いているので、こういう答えが返つて来るのだと思いますが、実際は一年を通じて湿度がとても高く、5月から10月の中旬位は毎日30度を越える日が続きます。10月から1月は15～25度位で香港に旅行するにはとてもいい時期です。夏の湿度が高い日などは、冷房が効いた部屋に長く居て急に外へ出ると出た瞬間に体全体がベトベトになります。夏にコップに冷たいジュースを入れておくとコップの外側に水滴が付きますがこれと同じ現象です。

・香港国際空港

98年7月6日ついに香港に新しい国際空港（赤鱗角空港）がオープンしました。ランタオ島大嶼山の北沖を埋め立てて造られ、従来の啓徳空港の約4倍の広さ。広々とした空間と透明ガラスを通して差し込む柔らかい自然光が印象的です。ガラスと鉄骨を多く用いながら、温かみを感じさせる空間をもつ空港です。到着フロア、出発フロア、チェックインフロアの3層に分かれています。288のチェックインカウンター、206のイミグレーションブースがあります。長い順番待ちに悩まされる心配はなさそうです。140以上の店舗が入る「スカイマート」での最後のショッピングも楽しみですね。



香港国際空港の発着ロビー

◆晩年に輝く「アジア民話」全巻翻訳の労作業

習志野市実梨在住の大西さんは、会社を定年後に本格的な英語学習を開始し、「アジアの民話」全六巻を翻訳した。何と「70歳の時で、8ヶ月かけて独力で訳しました」という。大西さんの労作は、習志野市国際交流協会事務局に寄贈され、閲覧・貸出されていますので、興味のある方は是非ご一読下さい。

大西さんがアジアの民話を知ったのは、1998年4月から放送されたNHKラジオ英会話の内容がきっかけ。この民話集は75年に初版が発行されて、ユネスコ・アジア出版センター（東京新宿区）から91年に第四版が出版された。現在は在庫も再発行の予定もなく、市販されていない書物である。

アジアの民話を翻訳した動機は、どこにあったのか。「ラジオを聞いていて、面白い話があると興味を覚えたのです。出版センターから借りてきて読んでいるうちに、これなら何とか訳せそうだと思いました。ヨーロッパの民話は、日本語に訳されていて子供の頃に読んだ記憶がありました。アシアの国々の民話は聞きかじっていないことに気付きました。そして、98年は私が70歳になりましたので、何か記念に残しておきたいと思ったのです」

とうじょう
登場します。架空の動物が人間と対話する場面など、その背景が分からないと翻訳しにくい部分もありました。

しかし、ブータンの民話などは、仏教用語を使わなくても因果応報などがストーリー展開で分かるようになります。人間の知恵や倫理というものが分かりやすく語られていて、いろんな教訓が心に残りました」



苦労話しを語る大西さん

それでは、大西さんと英語との関わりはどうだったのか。昭和3年生まれの大西さんは、少年・青年時代は第二次世界大戦と敗戦後の真っ只中で、学校でまとまに英語を学習できない環境だった。しかし、子供の頃から英語が好きで、いつか存分に学習し使いこなしたいという夢を持っていた。

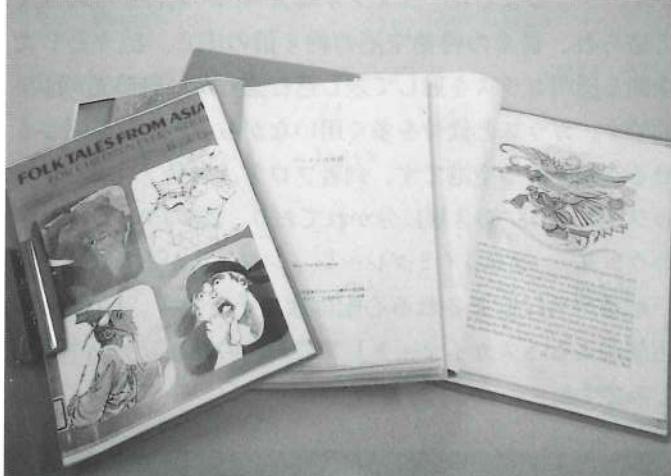
◆定年後の64歳から本格的な英語学習を開始

会社員だった頃は仕事が多忙で、早朝にラジオでNHK基礎講座を聞くのが精一杯だった。耳で聞いて分かるようになったものの、グレードが上がると聞き取れなかった。耳で分かっても、きちんと読んだり書いたりするには文法が必要だと思ったが、仕事の関係でまとまった勉強の時間が取れなかったのだ。

「仕事との狭間で悩んだこともありましたが、夢は捨ててはいけない。子供の頃の夢を大事に育てていって、完成させようと思っています」

そして、定年退職を契機に一念発起し、64歳から渋谷の英会話学校で文法などの総合コースを選択し、1年間通学した。中学校の教科書も繰り返し学習して基礎を徹底的にマスターし、高校レベルの英語も習得した。

その前段として、大西さんは米国の友人と20年以上、文通で心の交流を行ってきた。インディアナ州のサンタ



アジア民話の一部

◆アジア民話には人間の知恵や倫理が

この民話集は、アジアの国々で語り継がれてきた民話を世界の子供たちに伝えたいという願いがこめられており、ユネスコに加盟しているアジアの18の国と1つの地域から47の民話が収録されている。各国の専門家が自国の民話を英語に訳して編纂されたものだ。日本の民話では、浦島太郎、権兵衛さんと賢いお嫁さん、三つのお守りの3話が掲載されている。

「蛇、犬、ウサギ、羊など日本でも馴染みある動物が

ゆうびんきょくちょう つと
クルス郵便局長を務めた人で、お互いの夫婦で付き合い
がある。この郵便局では、クリスマスの時に郵便でお便
りすると、素敵なスタンプ付きの書簡が送られてきて、
記念品として知り合いの子供にプレゼントできる。

「こちらがお礼で日本の民芸品を送っても、それがど
のようなものか向こうの人に理解されません。単にプレ
ゼントするのではなく、真心をこめた説明文などを添付
しないと、本当の心と心の交流にはつながりません。現
在でもクリスマスと新年、それ以外に2回の年間4回ぐ
らいはお便りがきます」

◆「語学に年齢は関係ない」—現在はグリム童話を

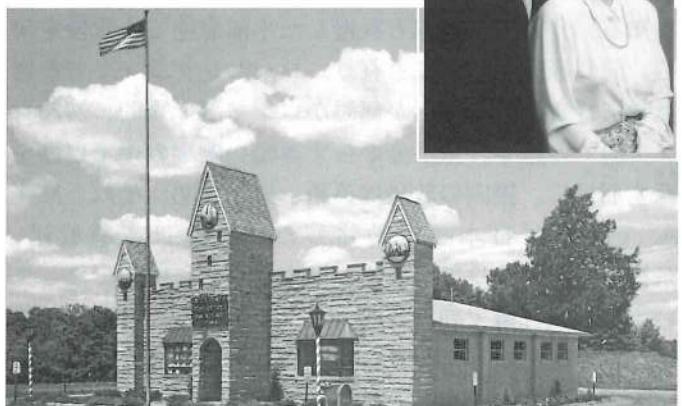
大西さんは現在、「グリム童話」の翻訳作業を進めて
いる。60話のうち40話は終了して、1日4時間以上も作
業に没頭している。そこで感じることは、狩猟民族と
農耕民族の文化の違いだという。

「今、翻訳しているのは残酷な物語で、無駄な言葉が
なく、ストーリー展開も鮮やかです。それに比べて、ア
ジアの民話は情緒的で感情の表現が豊かです。特に、日
本語は感情表現の言葉が豊かであると感じます」

翻訳の世界は奥が深い。日本語のリズムや構文と違う
ため、直訳では意味が通じないこともある。作者の意図
するところを汲み取って、文章を再構成する作業も必要
だ。大西さんは「自分の言葉でつくれないと、自分の文
章にならない」という方針を崩さず、一切既存の翻訳本
を参照せずに、独力で翻訳作業を進めている。

「語学学校の校長が『語学は40歳を超えるとモノにな
らないという説は嘘ですよ』と明言していました。いく
つになっても、外国語を勉強するのは難しくないと、私
の体験から確信を持って言えますね」

子供の頃に抱いた夢を育んで、それを晩年に開花させ
た大西さんの人生は素晴らしい。この一言に尽きるだろう。
大西さんの労作を一度、じっくりと熟読されることをお薦め致
します。



古い文通の友ロッグ夫妻とサンタクルス郵便局

チャリティ コンサート

佐藤 智俊 (N.I.A.会員)

としはじ なかま いちはら ちばろうさいびょういん
年始めに歌の仲間7名で、市原にある千葉労災病院で
チャリティコンサートを行いました。昨年5月に続いて
二度目の訪問です。丁度この日は暦の上の「大寒」、
文字通り厳しい冷え込みの中、県内全域が雪化粧した日
でもあります。そんな悪天候にもかかわらず、近郷から
或いは院内から重い障害をお持ちの患者さん130名ほど
が車椅子で集まってくれました。色とりどりに飾られた
舞台背景は、すべて患者さんたちの手作りとか。特に
「新春コンサート」の文字は右半身不自由な方が左手で
書いたものと聞かされ、その熱意に一同身の引き締まる
思いをしました。又、オシャレでかわいらしいポスター
やプログラムは看護婦さんの手作りだそうで、
病院側のやさしさと期待の大きさが伝わって参ります。
懐かしい日本の歌を中心に独唱・二重唱・合唱そしてピ
アノソロと内容豊かなプログラムの中から「ふるさと」
や「おぼろ月夜」といったなじみの曲を懸命に唱和しよ
うとする人たちの姿に、私達の方が感動を覚えたもので
す。最後は、アンコールに応えて「早春賦」を会場のみ
なさんと一緒に歌い、とても楽しいステージでした。
花束をいただき拍手で送られる中、不自由な体にもか
かわらず「ありがとう」と手をさしのべてくるオバアチ
ヤンやそつと涙をふいている人を目にしたときは、胸の
つまる思いでした。普段は殆ど縁の無い慈善の世界に触
れて、ちょっと得意気なそしてやさしい気持ちになっ
ている自分にいさかテレ臭い思いをしたものです。ほの
ぼのとした空気の中に、関係者の方々や患者さんから
「やさしさ」を教えていただいた、そんな心温まる一日
でした。



コンサートを楽しむ千葉労災病院の人々

イタリア便り・・・21世紀の食事情 宇井 由美子（イタリア在住）

ヨーロッパでは100年毎にペストが流行という歴史が続きましたが、形を変えた「狂牛病」が21世紀の幕開けとなりました。人々が肉質の柔らかい牛肉を求めて、粉状にした配合飼料で牛を育て始めた1980年頃、イギリスで狂牛病が始まりました。肉質が柔らかくなったのと同時に、ウイルスにより、牛の脳がスポンジ状になると、不幸が起り、無策のまま放置したため、病気が広がってしまいました。イタリアでは、新タイプのMORBOというペストに似た伝染病の狂牛病が見つかり（1月20日）、イタリアで2件目の発病となり、びっくり仰天しています。牛以外の家畜やペットにまで病気が広がり始め、病気の治療法も見つからないまま、死者も増えており、ヨーロッパは大パニック状態です。もちろん、肉だけでなく、牛乳やチーズ、バターなどの乳製品と菓子、ミルクチョコレートもたべられません。

そのため、肉屋が魚屋に転向したり、一挙に近所の人たちも獣の肉をさけ、魚と野菜に変えています。21世紀、人類は魚と菜食の時代になる、と真顔で論じています。魚料理が大人気となり、魚を食べることで知られている日本人の私達のところに、料理法を教えて欲しいという人が増えました。

私の住んでいる地域は山に近い内陸なので、子供の頃に魚を食べたことのない人が半数以上（ギョッ!!）。その上、料理法も知りません。また、魚は臭いからと絶対に台所で調理せず、地下のガレージや外で料理をする人がほとんどです。魚スープをごちそうしてくれる、というので喜んで行ったら、1時間以上も煮込んだ固いタコやパサパサの魚にビックリさせられました。我が家のお手作りのアジの開きやイワシの丸干し、塩鮭切り身を庭にほしておいても、近所の猫は臭いをかいただけで通り過ぎていきました。北イタリアの猫は魚を知らないのです！

このような状況で町に魚屋があるはずもなく、1週間に1度、ヴェネツィアの海の町から来る魚の行商の車だけが魚を買うチャンスなのです。それだけに高価で、牛のヒレ肉の値段の1.5倍～2倍の価格です。どうしても魚を食べたい日本人なので買っています。そして、骨まで調理して無駄なく食べていますが。

その魚の行商人のミケランジェロと知り合いになり、一緒にイタリアで2番目に大きい魚の卸売市場であるヴェネツィア県キオッジヤ（最大はシチリア島）へ、イタリアの台所見学に行きました。1月は、甲イカのシーズンで、どこもかしこもイカ墨で真っ黒でした。半分以上

が日本向けのこと。公卸売り市場なので、一般の人は入れず、頼み込んで警察官2人の護衛付で入場し、写真撮影しました。日本の商社も多いとのことで、シチリアのマグロ（5～7月が季節）の95%以上が日本へ輸出されているそうです。

ヴェネツィア周辺のレストランは、魚のフルコース…ゆでたイイダコのレモン汁和え、ムール貝とアサリやエビのトマト煮、アサリのスパゲッティ、イカ墨スパゲッティ、獵師風トマト味スパゲッティ、黒鯛やウナギの炭火焼、トマト煮魚スープなど…白ボレンタ添えと輪になったヴェネツィアパン（500年前からの伝統的なものです）などです。今年の日本は、イタリア年とのことですから、きっと、これらのイタリア料理が大人気になるのでは？

Buon Appetito! (たっぷり召し上がり)



行商人のミケランジェロと卸売市場で

モロッコを見た儘、聞いた儘 栗原七郎（日本語ボランティア）

今回モロッコの旅は、モスクワ経由。当然機中では禁煙を決め込む、が念の為スチュワーデスに喫煙席の有無を訪ねて見ると、当然の事ながら、ロシア語で返事。殆ど理解できず、分かった振りをしてその場をごまかす。所がモスクワ到着二時間ぐらい前、数席喫煙席がある事を知る。今まで八時間も我慢した手前意地でも我慢を決心。同じ経験が以前にも有り。レーニングラードで芝居見物に行き、自分の席が何処かロシア語で質問、勿論ロシア語での返事、全然分からず薄暗い劇場の中で自席を探す羽目に。機内の放送は英語、ロシア語、それとN.I.A.で数か月日本語を勉強した程度の日本語放送。飛行機をモスクワで乗換え、日本なら昔に廃棄になっている様な飛行機で約五時間カサブランカへ。今度は喫煙席がある事を知っており、喫煙席に行って見ると三席を一人の日本女性がベッド替わりに独占、残りの席で二十

歳半ばぐらいの五、六人の青年達が喫煙しており、諦めて、座席に戻り再度喫煙席に行くと相変わらず青年達が座っている。その中の一人私が喫煙に来た事を察知したのか、“俺の席を使っていいよ”と言う。座席を借用煙草を始めると、青年達が回りに集まり、初めて会った外国人同士の決まり文句、“俺たちはモロッコ人”とか“どこから来たとかどこに行くのか”取り止めの無い話を暫くし、席を譲ってくれた礼を言い座席を立つと“煙草吸いたく成ったらまた来い”と届託のない態度。大変好感を感じる。

二十余時間後真夜中にカサブランカに到着。実は私、カサブランカがモロッコの都市である事も首都がラバトである事も知らず。翌日ラバト、メクネスを経由しフェズへ行く。途中訪れたモスクとか何々王の廟とか誰々の記念塔などには全然興味が持てず。只ガイドの話でイスラム文化が中世から近代に至る過程で果たした役割の大きさには感心。同じ事をポルトガル、スペインでも感心した事思い出す。

フェズで物売り市場を見学。さながら年末上野のアメリカ横の賑わい、通路は狭く、言語を絶する汚さ、そこをロバ車が行き来。御者がバラク、バラク（退け、退けと言う意味だそうだ）と叫びながら後から前から横から来る。通行人は狭い道でロバ君に道を譲り、無表情なロバ君脇目もふらずに通り過ぎて行く。これが次々来る。加えて路上にはロバ君の落とし物が沢山。ロバ君の通過と落とし物に気を取られて、回りを詮索する事も儘ならず、無事に歩くことが精一杯。それと他国での経験以上の猛烈な物売り。千円、テンドル、千円、テンドルと叫びながら横に引っ付き側を離れようとしない。理解出来ない事は買っても更に同じ物を買えと迫る事。この光景は地元の人の話では数十年何の変化も無い由。一寸気掛かりな事、蠅や、虫が飛び交う店先に山羊、羊の毛の着いた儘の頭、えたいの知れぬ丸ごとの小動物、それと日本でも見かける生肉等々が陳列されており、見掛けでは冷凍設備も無さそう。売れ残ったらどうするのか。余計な心配。

アトラス山脈を越えると風景は一変、日本の大地を美しい女性の肌に例えるとこの地は筋骨隆々とした男性美さながら。筋骨隆々の男性美が好きな方は一度モロッコ

旅行に行く事。今回の旅行で私のハイライトはこの風景かも知れません。平野は見るからに不毛の地で羊、山羊の群れが僅かにある草をはみ、のどかな風景。

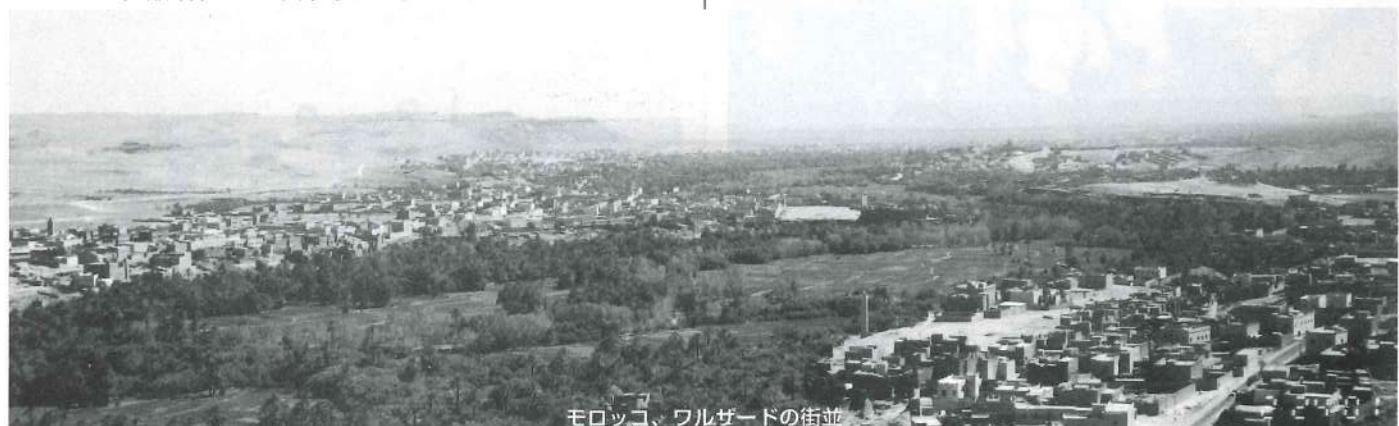
エルフードという町に到着。ここはサハラ砂漠の近くの町で砂埃が舞い上がり砂漠の近さを思わせる。翌朝砂漠の日の出見物。四WD車で行ける所まで行き後は砂地を歩く。四WD車のドライブも殆ど道らしき道も無く、段々石のサイズが細かくなりやがて砂に変わる。砂漠の近きを知る。四WD車を下りると意外な事に沢山の人々（ペルペル人と言うそうな）が待ち構えている。そしてマンツウマンで一緒に歩き始める。歩けなくなった人の手助けをしてチップを稼ぐのだそうだ。帰途例のペルペル人諸氏チップ、チップの連呼。断ると身に着けた物のおねだり。落ちは煙草をくれ。町門で煙草一本ずつ売る商売。煙草一本も貴重な様だ。帰途ペルペル人のテントに寄る。彼等は遊牧民族で移動しながらテント生活をしている由。そのテントは日本の川沿いでよく見掛ける物さながら。但し中間に頑丈な仕切りが在り、訳は男女別々に寝るためとの事。夫婦も別居かと尋ねると、答えはYes。でも子供が出来ている事から余分の心配は不要。

ワルザードからマラケッシュへ行く途中、ベナハッドに立ち寄りユネスコの世界遺産に指定されているカスバを見学。狭い所に山羊、羊、ロバ数頭。世を捨てた風情の三十才前後の女性が一人、旅人にも何の興味も示さず。ここもご多聞に漏れず汚い。次にいわゆる“カスバ街道”を一路マラケッシュへ。旅行案内には“カスバ街道”とか“何々のメデナ”を見ずしてモロッコは語れ無いとか仰々しく書かれているが、さに非ず。

モロッコ人の握手、一種独特、欧米人のそれとは違って心底から親愛の情を伝え合う様な心温まる光景。男女の連れ歩きの光景は殆ど見出来ず。

イスラムの街では、富者は貧者に施すのが掟とか、キヤンデー、マナーと手を出す子供達。何か物が置いてあると、それも神の思し召しと持ち去られる事も有るそうな。

今回の旅で、お金が全てで多忙な国と、時間がストップした様な国と、人々にとってどちらが幸せなのか？答えを模索中。



メル友との出会い

ながさか かな
永坂香奈（青少年部会員）

私は、春休み中の2週間学校からの姉妹校派遣でアメリカ・ウィスコンシン州にホームステイしてきました。ウィスコンシンでの10日間、私のホストファミリーになってくれたMattとは昨年の4月からE-mailで交流をしてきたいわばメル友でした。彼に会うまではメル友で英語が通じていても実際に話が出るかどうかとても不安でした。

そして3月16日から私のアメリカ生活は始まりました。Mattはとても優しくて思いやりのある人でした。彼は日本語を学ぶ事にとても熱心でした。Mattや彼の家族は私を本当の家族のように受け入れてくれました。そしてお互いに日本や米国の事など、たくさん話をしました。学校では、日本語クラスの授業に参加し折り紙やけん玉など日本の伝統的な遊びの紹介、そしておはダンスと一緒に踊りました。日本についてよく知っているのには驚きました。授業は1日8時間で休み時間は3分しかありませんでした。日本の学校の時間割との違いに驚きました。放課後はアイススケートに行きました。転びまくり、あざをたくさん作ってしまいましたが、とても楽しかったです。週末には教会やモールに行きました。

私にとってウィスコンシンでの10日間はこの17年間の中で一番楽しくいい経験が出来ました。これも私のホストファミリーになってくれたMattと優しい家族そして友達のおかげだと思っています。この2週間で英会話の面でも人間的にも成長出来たと思います。Mattとはいつも冗談を言い合える位、仲良くなれたので別れがとてもつらかったです。近い将来アメリカに行き、彼らとの再会を果たしたいと思います。



メル友、Mattと共に

洋上教室航海記

みやもとたいすけ
宮本泰介（青少年部会員）

私は習志野市と八千代市共同開催の「少年少女洋上教室・FRIENDSHIP 2001」に参加してきました。3月24日から3月31までの8日間国内最大級の客船「にっぽん丸」（全長160m全幅30m総重量2万トン）を使用、北マリアナ諸島サイパン島までの往復4800kmの大航海研修でした。毎日船内では習志野・八千代両市と両市の友好都市からこの青少年健全育成プログラムに賛同し集まった、小学4年生から高校3年生までの団員と引率するリーダー、団員とリーダーをサポートする実行委員の総勢500名の乗組員で研修が行われました。研修は全体研修、組別研修、クラブ別研修等を行いました。日が経つにつれて充実感に満ちてくる子どもたち、大きな船といえども大海原の中では木のはどうぜん葉同然の世界で、雨にも風にも大波にも負けない充実感いっぱいの子供たちの顔は日毎にその輝きを増していくようでした。終わりが近づくにつれて充実感に満ちたみんなの顔はどこか寂しそう。最終前夜に行われたフェアウエルパーティー（洋上祭）では歓喜と感涙が入り混じり、これ以上にない感動でした。特に研修のほとんどを企画実行しなければならないリーダーの皆さんはこの事業の実行委員会が結成されてからの約8ヶ月間20回以上にわたって会議をくり返し、船内でも毎日団員に気を配り、夜は徹夜同然の準備作業で大変なご苦労でした。どんなに疲れた表情をしていても、団員を迎える朝にはそんな疲れを微塵も感じさせない笑顔で振舞っていた輝かしいリーダーの姿は印象深く感動的でした。31日午後2時、夢で膨らんでより大きくなった船は灼熱のサイパンと正反対の雪の中を思い出を噛み締めるようにゆっくりと接岸。この航海の最大の成果は日焼けした端正な顔立ちで下船する乗組員全員の背中が物語っていました。



サイパン島 パンザイクリフにて

会員紹介／こんにちは、コ・ソ・ニ・チ・ハ／みなさん、どうぞよろしく！

岡田パトリシアさんとウン・ティ・タン・ハンさんの紹介は、去る3月7日に開催された日本語ボランティア活動の第三回スピーチ茶話会で発表されたスピーチ内容です。

「コロンビアの食べ物について」



岡田パトリシア

皆さんおはようございます。コロンビアからきました。主人は日本人です。日本でスペイン語を教えています。私には、生徒がたくさんいます。

今日は、コロンビアの食べ物について紹介します。コロンビアでは、日本人と同じように毎日お米を食べます。朝は、コーヒーとパンだけです。でも、昼食と夕飯に、ご飯とスープとサラダ、そしておかずを食べます。コロンビアには、果物がたくさんあります。それは、フィリピンと同じです。コロンビアでは、果物や野菜がとてもやすいです。

コロンビアは山が多いです。川の魚がいっぱいとれるので、川の魚をたくさん食べます。でも、日本人のように生では食べません。味付けは、にんにくと塩味です。それから、牛がたくさんいるので、牛肉をよく食べます。卵と鶏肉はとても新鮮です。もちもありますが、日本と違ってとうもろこしの粉で作ってバターをつけます。コロンビアでは、コーヒー豆がよくとれるので、毎日お茶代わりにのみます。

「ボランティアについて」



ウン・ティ・タン・ハン

こんにちは。ウン・ティ・タン・ハンです。3年間日本に住んでいます。去年5月から、ここで日本語を勉強しています。去年、秋津小学校でベトナムの文化を紹介することになりました。ベトナムの遊びを紹介しました。いろいろな質問に日本語で答えられるか心配しましたが、いざ学校に行ってみたら「海はありますか」「山はありますか」「ご飯はたべられますか」という質問ばかりだったのでびっくりしました。その後、ベトナムのマジックで遊びました。ベトナムでは小学校でも試験をして落第させることがあると話したら、子供達は驚いていました。その何日かあと、小学生達から手紙がきました。その手紙を読んで、私はボランティアをしてよかったと思いました。皆さんもぜひ、ボランティアで文化の交流をしてください。

「国際学園都市習志野」



亀井 靖子（編集部員）

交換留学を終えアメリカから帰国した私は、日本のさまざまなことに疑問をもつようになった。そのひとつが「大学と街の関係である」。習志野市には3つの大学があるにも関わらず、大学と市の関係は薄い。習志野市が大学と協力し合うことで、イギリスのオックスフォードやケンブリッジのような学園都市を築くことができるのではないか。そう思ったのが習志野市国際交流協会との出会いのきっかけであった。

学生が市の活動に積極的に参加すること、そして市が多くの活動機会・情報を提供すること。まずは自分がその一歩を踏み出してみることにした。幸い、以前から国際交流には感心があり、私自身国際交流を通して多くのことを学んだ。NIAスクウェアの編集部で活動していく中でどんなことができるか、新たな挑戦である。諸先輩方にいろいろ教わりながら楽しみたいと思う。

Information/N.I.A事業のお知らせ

さわかい 3月7日第3回スピーチ茶話会

いまいようこ しちみちこ
今井洋子、志知美智子（日本語ボランティア）

13か国31名のスピーチ発表者、NIA林会長と山崎理事、日本語講師それにタウンテレビ習志野も撮影に加わって、スピーチ茶話会は総勢71名の盛会となりました。出身国も、滞在期間も、日本語のレベルも全て異なる学習者の発表会が3月7日に開かれました。

スピーチの内容はとてもバラエティに富んでいました。自己紹介、日本での休暇、自分の仕事、自国の紹介、ボランティアについて、今の日本と10年前の日本の比較などがありました。また、文化の比較を3名で話したり、バイオリンの演奏で賛美歌を披露する母娘や学習者と講師による会話体の授業風景などもありました。会が進むにつれ、勇気を出して飛び入りでスピーチをした方もいました。

それぞれの話から外国の生活の一部を垣間見たり、今まで意識していなかった日本語の事を改めて教えられたり・・・とにかく得るものが多い内容でした。内輪の会に止まるのは惜しいという声も聞かれました。

前半の発表が終わったところで、15分の休憩をとり、短いながらも参加者同士が交流、歓談し、終始自由で、和やかな雰囲気でした。（この日の様子はNIAホームページでどうぞ。）

「大成功！」と、自画自賛したい気持ちもありますが、実は会場準備から後片付けまで3時間という制約が参加者全員に対する課題でした。スピーチは一人3分。サッカーを模して、30秒前のイエローカード、スピーチ終了を知らせるレッドカードの提示。発表者には、本当に心苦しく、申し訳ない気持ちでした。また、茶話会と名のつく以上、30分は交流の為の時間を取ったかったと感じました。次回は「もっと時間を・・・」です。

それでも終了したのは、12時ピッタリ、これは本当に皆様の力強いご協力の結果です。発表者の皆様、楽しく興味深いスピーチをありがとう。講師の皆様、すばらしいボランティア精神をありがとう。この会での経験が、講師、学習者の双方にとって、今後の学習に少しでも役立てば幸いです。この日担当者一同は、感謝と暖かな気持ちでスピーチ茶話会を終えました。

役員の選任

去る、5月26日開催の2001年度総会において、次のの方々が役員に選任されました。任期は2年間です。役員を核として会員の部会参加により、各部会の活動を活性化し習志野市の国際化に貢献しましょう。

任期2001年5月26日～2003年5月25日

(アイウエオ順)

役名	氏名	住所	備考	役名	氏名	住所	備考
理事	井吉仙征	秋津2-1-5-201	再任	理事	沼澤佳子	津田沼3-13-5-505	新任
	川端幸雄	鷺沼1-1-1	新任		林安次	香澄2-5-6	再任
	佐々木藍子	鷺沼台3-11-20	新任		林田陽二	藤崎3-28-7	新任
	佐々木幸雄	秋津3-1-36	新任		松盛弘	鷺沼2-1-10	再任
	澤滋夫	袖ヶ浦4-6-12	再任		山崎美知代	鷺沼台3-2-33	再任
	白鳥純	津田沼2-1-9	新任		山本禮子	実糀本郷15-38	新任
	鷹栖明	谷津6-7-2-809	再任	監事	高村久男	津田沼7-10-14	再任
	館川裕	花咲2-17-6	再任		富原啓	東習志野6-9-4	再任

「ならしのキラット2001」

N.I.A.サンバチーム募集中!!

7月22日(日)の市民まつりで、外国人とサンバを踊ろう!!
お申込はN.I.A.事務局まで

「姉妹都市提携15周年市民訪問団」

今秋、タスカルーサ市への訪問を企画しています。参加の意向や、内容に希望がありましたらご一報ください。

詳細は次号スクエアでお知らせします。

N.I.A.2001年度事業計画（事務局）

N.I.Aも1999年4月から、自主運営により事業の推進を行い2カ年が経過し、会員一人ひとりの熱意と協力により、順調な発展を遂げていると評価されて参りました。2001年度の事業計画も、理事会や総会で審議され、下記の表のように各部会の主要事業が決定いたしました。

しかし、英語の第2公用語問題や、小中学校への国際理解教育の導入、在住外国人子女の受け入れ体制等国際化への課題は、ますます多くなっています。この様な時期に市民団体としてのボランティア活動のあり方等、会員各位の活発な提案や発想の中で、充実した協会活動を展開していくことが念願です。
皆様の参加とご協力ををお願いいたします。

2001年度主要事業

月	総務	姉妹都市交流部会	交流部会	情報部会
4	理事会監査			編集会議（毎月1回） ホームページ作成（例月）
5	総会	青少年交流事業（派遣）選考会	サンバチーム結成	
6		青少年交流事業（派遣）事前研修		N.I.A.スクエア54号発行
7	事業部長会議	青少年タスカルーサ市派遣(7/15~7/30)	市民まつり参加（7/22） サンバチーム	
8		青少年派遣団報告会		
9		タスカルーサ市訪問団来習	タスカルーサ市訪問団 歓迎バーベキュー大会	N.I.A.スクエア55号発行
10	理事会		交流バスツアー（日帰り）	
11		姉妹都市提携15周年市民訪問団派遣		
12		タ市桜まつり、俳句、絵画の募集		N.I.A.スクエア56号発行
1	理事会		餅つき大会	
2				
3				N.I.A.スクエア57号発行

月	比較文化部会	語学研修部会	在住外国人交流部会	ボランティア部会	青少年部会
4			日本語ボランティア事業 初級（月、水、木） 中級（月、水） 漢字教室（火）		世界の菓子作りⅠ
5	世界の料理教室 比較文化講演会	語学交流講座（Ⅰ期）	同上	研修会	
6		同上	同上		
7	世界の料理教室	同上	同上 七夕まつり		花火大会
8		同上	同上（休講あり）	ホームステイ受入説明会	
9		語学交流講座（Ⅱ期） 日本語ボランティア養成講座開講	同上	タスカルーサ市訪問団 ホームステイ受入 研修会	世界の菓子作りⅡ
10	日本文化セミナー (生花)	同上 同上	同上 茶話会		
11	世界の料理教室	同上 同上	同上		バスツアー（日帰り）
12		日本語ボランティア養成講座終了 日本語ボランティア実践説明会	同上	研修会	クリスマス・パーティ
1	日本文化セミナー(着付)	語学交流講座（Ⅲ期）	同上		世界の菓子作りⅢ
2	世界の料理教室	同上	同上		
3		同上	同上 スピーチ茶話会	研修会	

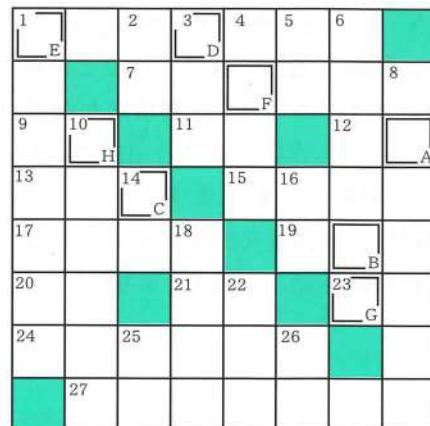
Letsチャレンジ／ザ・英文クロスワードパズルNo.54/プレゼント付！

〈Across〉

1. Country ruled by a King or Queen.
7. — Bomb: A very destructive bomb utilizing forces
9. Coast Guard
11. Chief Engineer
12. Companion of Honor
13. Kansas
15. Length of cotton or silk material draped round the body, worn by Hindu women.
17. Using the spoken, not the written, word.
19. Measure of weight (2, 240 lb. in U.K., 2,000 lb. in U.S.A.)
20. Feet or Foot
21. East India
23. New England
24. Opposite of Male.
27. Put back in its place.

〈Down〉

1. Strike with the foot (Begin the football).
2. National Academy
3. Good till canceled or countermanded
4. My uncle — not eat fish.
5. Old measurement
6. A unit of length: one thousandth of millimeter.
8. People of China.
10. (Elastic) band worn round the leg to keep a stocking in place.
14. North America
16. I met him — the library.
18. —, leaped, leaped,
22. In bad health
25. I, my, —,
26. Each



〈出題者〉 御園生 馨 (編集部)

〈応募要項〉

クロスを解いたあと、A～Hの文字をつなげてできたことばが正解です。

解答と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌の感想等を書いて送って下さい。解答は、ハガキ、FAX、Eメールで7月末日までにお送り下さい。

正解者の中から抽選で5名の方に、図書券をプレゼントします。

「N.I.A.スクウェア」編集部まで。

たくさんのご応募お待ちしています。

日本語ボランティア養成講座の開講

在住外国人に日本語を教えていただくボランティア講師養成講座の受講生を募集しています。受講者は、当協会への加入と、養成講座終了後は、ボランティア講師として活動できる方に限定いたします。

講座は、週2回（火、金曜日）を原則に全30回、60時間です。

期間 9月4日(火)から12月18日(火)まで

時間 午前9時30分から11時30分まで

会場 サンロード6階大会議室他

受講料 5,000円（他にテキスト代5,000円程度）

定員 25名（多数の場合は抽選）

講師 手綱久枝さん

申込み 官製はがきに「日本語ボランティア養成講座希望」と明記の上、住所、氏名（フリガナ）、生年月日、電話、FAX番号を記入し、事務局へ。締切りは、7月31日(火)必着。

その他 協会加入は、年会費2,000円です。

編集後記

*特集の「香港」で思うこと。「人を小馬鹿にする」癖のある英国人が「自分を笑い者にできる一己を否定する心のゆとりをもつ」香港人の心をどこまで理解して統轄していたのでしょうか？

(Y.T.)

*Would it be possible to hear some feedback from any source about Hong Kong after it has terminated its agreement under British system of government?

(J.S.)

*1965年に始めて訪れた香港。その後の変化に驚く。人口は400万から700万に。国際空港は啓徳から広さ4倍の赤鱗角へ。そして中国への返還。「買い物天国」、「中華料理の本場」が懐かしい。(K.M.)

*アジアの事など、身近な事でも知らない事がまだまだいっぱいあります。この活動を通していろいろなことに興味を持ち、自分の視野を広げて行こうと思っています。

(Y.K.)

*学生のみなさん、若いうちに外国へ行くことは、自分自身にとって大きな刺激を受けると思います。また自国のことを見らない自分にも出会うことでしょう。世界の人々に自信を持って説明できるようにと日々の勉強を頑張れば、学校の勉強も楽しくなるかもしれません。

(N.I.)

*ふとしたことから入院することになり、医療スタッフ、それをサポートするヘルパーの方たちの真の温かさに感涙しました。

(K.N.)

前回の解答

〈解答〉 TEHERAN

P	E	R	S	I	A		R
E	L	E	C	T		B	A
A	B	A		S	E	E	M
C	A	R	P	E	T		S
E			H	L		F	A
F	I	T		F	O	U	R
U	S	E	D		W	S	
L	O	N	D	O	N	E	R

当選者

鹿田 碧子さん

庄司 文香さん

薄井 麻智さん

正解者は14名でした。

N.I.A.スクウェア・第54号

発行2001年6月1日/発行責任者・林 安次

編集・習志野市国際交流協会

編集責任者・館川 裕

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼5-12-12

サンロード4F

TEL/FAX 047-452-2650

<http://www.city.narashino.chiba.jp/nia/>

<Eメール> nia@city.narashino.chiba.jp